

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合交付金事業		路線又は箇所名等	長生の森公園				
事業所管課		公園緑地課			事業主体		千葉県			
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	平成5年度	工事着手年度 工終了(認可)年度	平成8年度 ～ 平成29年度	再評価の理由		再々評価		
費用便益比 B/C	1.35	総費用	202 億円	総便益	273 億円	基準年	平成 24年度	供用開始 年度	平成 14年度	

【事業概要】

本公園は茂原市の市街地から北西約2.5km丘陵地にあり、千葉東部地域（山武・長生・夷隅地域）のスポーツ・レクリエーション活動の中心的な役割を担う計画面積48.2haの広域公園であり、「人間・スポーツ・環境」をテーマに整備を進めている。

用地買収は平成5年度から着手し、現在ほぼ取得を終えている。また、南側区域については、平成8年度から工事に着手し、野球場、庭球場、ゲートボール場等を順次供用し多くの利用者に親しまれている。北側区域については平成20年度から工事に着手している。

【事業の進捗状況】

計画面積 48.2ha 供用面積 10.2ha（供用率21%）

総事業費 141億円 執行済み額 116億円（執行率82%）

用地確保面積 47.7ha（確保率99%）

既供用施設 野球場(H14)、庭球場(H15)、ゲートボール場(H16)、駐車場(H16)

【社会経済情勢等】

- 1 東日本大震災の経験から大規模災害発生時に必要な施設の整備が求められている。
- 2 急速に進む少子高齢化社会と低迷している経済情勢の下で県民へのレクリエーション施設の充実を図らなければならない。
- 3 千葉東部地域の一人当たりの公園面積は、4.68㎡/人で県平均値（6.48㎡/人）を下回っていること。（平成22年度末現在）。
- 4 南側区域のスポーツ施設での大会開催時等に駐車場が不足しており、北側区域の整備による駐車場の拡充要望が強い。

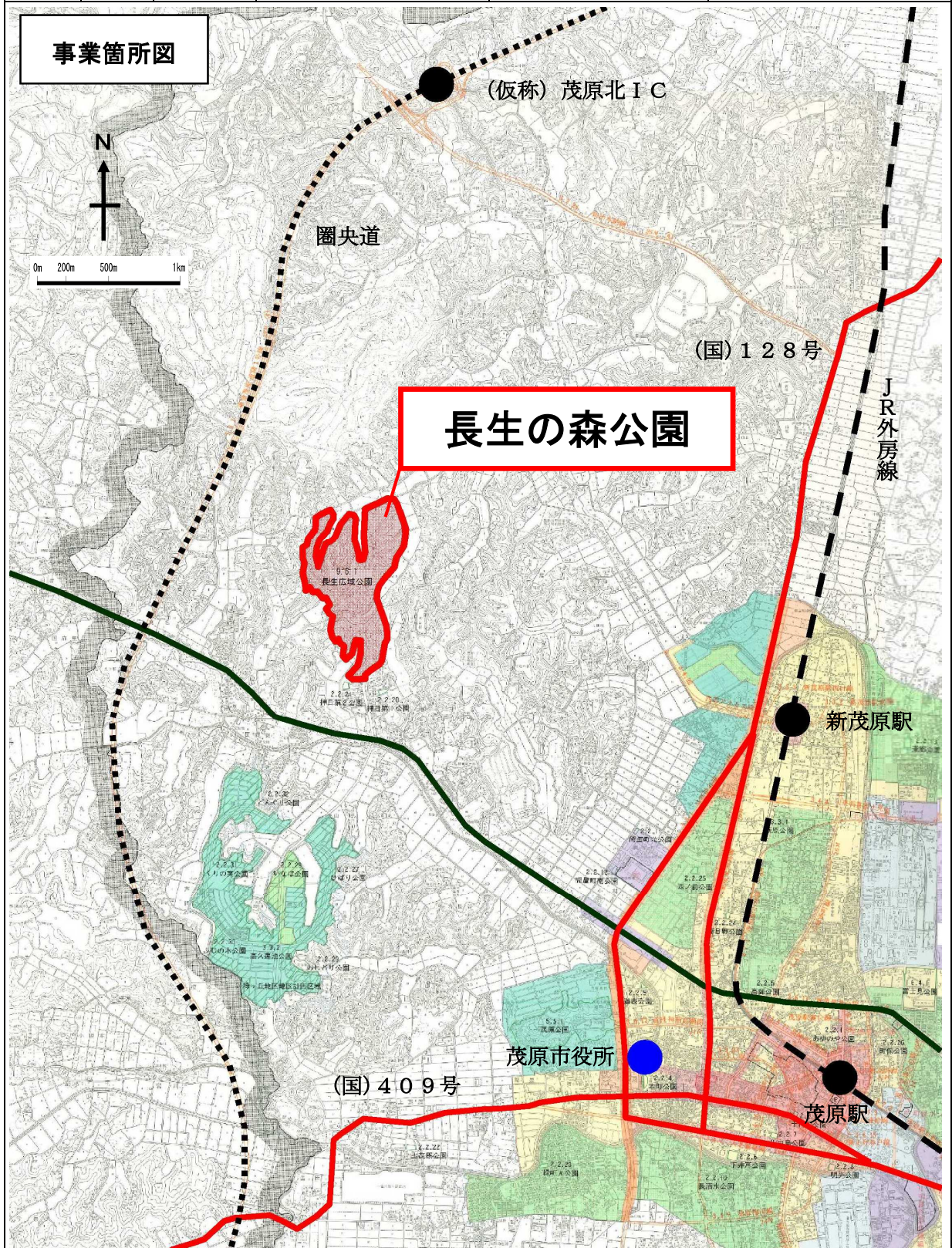
【対応方針（案）】

- 1 茂原市の広域避難場所に指定されており、地域防災計画に重要な施設であること。
- 2 圏央道開通との相乗効果が期待され地域の魅力アップを図ることで、より広域的な集客効果が見込め、公園利用者の増加が期待できること。
- 3 地域における一人当たりの公園面積が、県平均よりも大幅に少なく、地元からも早期完成が望まれていること。
- 4 北側区域の整備により既に供用されている南側区域の利用促進が見込めること。

以上のことから、公園整備の必要性は高いので、今後も事業を継続する。

【別紙様式 4】

事業概要図					
番号	4	事業名	社会資本整備総合交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園



【別紙様式 4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	4	事業名	社会資本整備総合交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	平成5年度	工事着手年度	平成8年度～平成29年度
【再評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成19年度	供用開始年度	平成14年度	対応方針	継続
B/C	1.61	総費用	182億円	総便益	293億円
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業を継続とするが、森林伐採による間接利用価値の減少に対する配慮が必要との意見を受けている。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定5年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況	5年後の想定進捗状況		
全体事業費	141億円	111億円(78%)	122億円(86%)		
用地取得面積	48.2ha	47.7ha	47.7ha		
供用面積(延長)	48.2ha	10.2ha	10.2ha		
【再々評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成24年度	供用開始年度	平成14年度	対応方針	継続
B/C	1.35	総費用	202億円	総便益	273億円
現在の進捗状況(平成23年度末)					
	計 画	進捗状況			
全体事業費	141億円	116億円(82%)			
用地取得面積	48.2ha	47.7ha			
供用面積(延長)	48.2ha	10.2ha			
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年度 千葉県県土整備部所管国庫補助事業 評価監視委員会 ・ " 事業計画の変更認可 ・ 平成20年度 詳細設計(北側区域の一部) ・ " 工事着手(北側区域の一部) ・ 平成29年度 全面供用開始予定 				